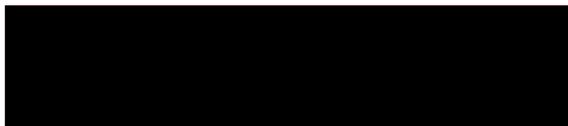


第2学年 国語科学習指導案



1. 単元名

じゅんじょに気をつけて読もう

2. 教材名 「たんぽぽの ちえ」

3. 指導の立場

「たんぽぽの ちえ」は、「時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら説明的な文章を読むことができる」ことがねらいの一つである。時間の順序については、時間やその推移を示す言葉が段落の初めに明確に示されている。理由を表す言葉は、それぞれの事実や現象の提示の後に、「～からです。」「～のです。」の言葉で位置づけられ、文章がより分かりやすくなっている。最後の段落には、「このように、～」という形で文章全体が総括される構成となっている。

本教材に出てくるたんぽぽは、春になると校庭や通学路の道ばたにも咲いているなど、児童にとって身近な花である。児童はたんぽぽについて、黄色の花が咲き、やがて綿毛ができることについては知っている。また、生活科の春みつけでたんぽぽが綿毛になると軸が高くなることに気付いた児童もいる。しかし、たんぽぽが仲間を増やすために、様々な知恵を働かせていることは、児童にとって新たな発見である。「たんぽぽのちえ」の学習を通して、「ちえ」には「わけ」があることが分かる喜びを感じさせたい。

児童はこれまでの1年生の学習では、「くちばし」で「問い」と「答え」という文章形式を学習している。「うみのかくれんぼ」では、順序に気をつけて読む学習、「じどう車くらべ」

「どうぶつの赤ちゃん」では比べて読む学習を行ってきている。それらすべての学習で、事柄や説明、時間的な順序を考えながら読む経験を積んできていることから、本単元を読み進めていくことができると考える。

感想を書く力については、文章から根拠となる部分を見つけて関連付けて書くことができる児童もいれば、根拠とは関係なしに自分が感じたことをそのまま書いてしまう児童もいる。

第三次で、かしこいと思うたんぽぽの知恵とそのわけを説明する文を書き抜き、感想を書く言語活動を行う。学習指導要領1・2年(読むこと)の指導事項の中から「オ 文章の内容と自分自身の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表しあうことができる」に重点をおき、指導にあたりたい。題材を根拠にして書くことや、自分の経験と結び付けて書くことを指導していきたい。

4. 研究内容の視点から

○研究内容1に関わって

第一次で、単元を貫く課題を作り、学習計画を立てる。「たんぽぽのちえ」とその「わけ」を言葉に着目して読みとり、自分の言葉でまとめ、感想を書く練習も毎時間積み重ねていく。第三次では、それまでの学習を活かして、「たんぽぽちえずかん」を書く活動を位置付けた。

○研究内容2に関わって

(1)②教科書の文や言葉を根拠にして考える
ちえに赤線、わけに青線を引いた後で、ちえとわけをそれぞれ書き抜く活動をする。根拠となる言葉に丸をつけさせることで、言葉に着目して読み取る力を付ける。

(1)③「よみのかぎ」を活用し、文末の言葉に着目させ、たんぽぽがぐんぐん伸びていくわけを読み取る。

5 単元指導計画

●単元の指導目標

◎時間の順序や理由を表す言葉に着目し、順序の関係を捉えたり、様子とそのわけを考えたりしながら説明的な文章を読むことができる。

(知(1)オ・(2)ア、読(1)ア)

◎大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。(読(1)ウ・オ)

単元を貫く課題

かしこいと思ったたんぼぼのちえとそのわけを「たんぼぼちえずかん」に書いてはっぴょうしよう。

相手：隣の子に

目的：自分が賢いと思ったたんぼぼのちえを理由をつけて分かりやすく伝えるために

	時	ねらい	学習活動	筆者の説明の工夫	評価規準・方法
第一次	1・2	題材に興味をもち、たんぼぼのいろいろな知恵について、時間や事柄の順序に沿って説明文を読む意欲をもつことができる。	1. 題名やたんぼぼについて知っていることを話し合う。 2. 単元を貫く課題を確認する。 3. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学しゅうのすすめかたを考えよう。</div> 4. 本文を読み、初発の感想を書いて交流する。 5. 課題を達成するための学習計画を立てる。	①だい名	【関心・意欲・態度】 題材に興味をもち、順序に沿って説明的文章を読もうとしている。(ワークシート・発言)
	3	どんなときのたんぼぼの様子が書かれていたか、読み取ることができる。	1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">じゅんじょをあらわすことばをもとに、たんぼぼのようすがどのようにかわっていったのか読みとろう。</div> 2. 全文を音読する。 3. 文章構成を捉える。 4. 「時をあらわす言葉」(どんなとき)をたしかめる。 5. 時を表す言葉と共に挿絵(たんぼぼのようす)を並びかえ、学級でそれぞれのたんぼぼに名前をつける。 6. 「はじめ」を読み取る。 7. 本時の感想を書く。	①だい名 ⑤じゅんじょをあらわす言葉 ⑥「はじめ」「なか」「おわり」 ⑧絵・写真と文をつなげる	【言】 順序を表す言葉を理解している。(ワークシート・発言)
第二次	4	花が咲いて2、3日たったときのたんぼぼの知恵とそのわけを読み取ることができる。	1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「ぐったりたんぼぼ」のちえとわけを見つけよう。</div> 2. 教師の2・3段落の範読に合わせてたんぼぼになりきって動作化する。 3. たんぼぼの「ちえ」とその「わけ」を見つけてワークシートに線を引き、書き抜く。 4. 全体交流をする。 5. 本時の学習で思ったことを書く。	①だい名 ②文のおわり ⑤じゅんじょをあらわす言葉 ⑧絵・写真と文をつなげる	【読むこと】 花が咲いて2、3日たったときの、知恵とそのわけを読み取ることができる。(ワークシート・発言)

第三次	5	花がすっかり枯れたときの、たんぼぼの知恵とそのわけを読み取ることができる。	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p>「わた毛たんぼぼ」のちえとわけを見つけよう。</p> <p>2. 教師の4・5段落の範読に合わせて動作化する。</p> <p>3. たんぼぼの「ちえ」とその「わけ」を見つけてワークシートに線を引き、書き抜く。</p> <p>4. 全体交流をする。</p> <p>5. 本時の学習で思ったことを書く。</p>	<p>①だい名</p> <p>②文のおわり</p> <p>⑤じゅんじょをあらわす言葉</p> <p>⑧絵・写真と文をつなげる</p>	【読むこと】 花がすっかり枯れたときの、知恵とそのわけを読み取ることができる。(ワークシート・発言)
	6 (本時)	綿毛ができる頃の、たんぼぼのちえとそのわけを読み取ることができる。	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p>「ぐんぐんたんぼぼ」のちえとわけを見つけよう。</p> <p>2. 教師の6・7段落の範読に合わせて動作化する。</p> <p>3. たんぼぼの「ちえ」とその「わけ」を見つけてワークシートに線を引き、書き抜く。</p> <p>4. 全体交流をする。</p> <p>5. 本時の学習で思ったことを書く。</p>	<p>①だい名</p> <p>②文のおわり</p> <p>⑤じゅんじょをあらわす言葉</p> <p>⑧絵・写真と文をつなげる</p>	【読むこと】 綿毛ができる頃の、知恵とそのわけを読み取ることができる。(ワークシート・発言)
	7	天候による綿毛の様子の違いとそのわけを読み取ることができる。	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p>「すぼみたんぼぼ」のちえとわけを見つけよう。</p> <p>2. 教師の8・9段落の範読に合わせて動作化する。</p> <p>3. たんぼぼの「ちえ」とその「わけ」を見つけてワークシートに線を引き、書き抜く。</p> <p>4. 全体交流をする。</p> <p>5. 本時の学習で思ったことを書く。</p>	<p>①だい名</p> <p>②文のおわり</p> <p>⑤じゅんじょをあらわす言葉</p> <p>⑧絵・写真と文をつなげる</p>	【読むこと】 天候による綿毛の様子の違いとそのわけを読み取ることができる。(ワークシート・発言)
	8	文章全体を見直し、たんぼぼが働かせている知恵とそのわけを、順序に沿って理解することができる。	<p>1. 10段落を音読する。</p> <p>2. 本時の課題を確認する。</p> <p>たんぼぼがなんのために、4つのちえをはたらかせているのかわかるようにわけをまとめよう。</p> <p>3. 1から9段落を音読する。</p> <p>4. 「いろいろなちえ」を働かせているわけを読み取る。</p> <p>5. 本時の学習で思ったことを書く。</p>	<p>①だい名</p> <p>②文のおわり</p> <p>⑤じゅんじょをあらわす言葉</p> <p>⑥「はじめ」「なか」「おわり」</p> <p>⑧絵・写真と文をつなげる</p>	【読むこと】 文章全体を見直し、たんぼぼの働かせている知恵とそのわけを、順序に沿って理解することができる。(ワークシート・発言)
		たんぼぼの知恵で賢いと思ったところを自分の経験と結び付けて思いや考えをまとめたり、発表しあったりできる。	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p>かしこいと思うたんぼぼのちえを「たんぼぼちえずかん」に書いてはっぴょうしよう。</p> <p>2. 全文を音読する。</p> <p>3. たんぼぼの知恵の中で、一番賢いと思った「ちえ」と「わけ」を本文から書き抜き、「たんぼぼちえずかん」に書く。</p> <p>4. 自分の経験と結び付けて思ったことを書く。</p> <p>5. 「たんぼぼちえずかん」を隣の席の子と読み合う。</p> <p>6. 「たんぼぼのちえ」を学習した感想を書く。</p>	<p>①だい名</p> <p>②文のおわり</p> <p>⑤じゅんじょをあらわす言葉</p> <p>⑥「はじめ」「なか」「おわり」</p> <p>⑧絵・写真と文をつなげる</p>	【書くこと】 たんぼぼの知恵で賢いと思うところについて自分の経験と結び付けて思いや考えをまとめたり、発表しあったりしている。(ワークシート・発言)

6. 本時の展開 (6 / 10)

(1) 本時のねらい

綿毛ができる頃の、たんぼぼのちえとそのわけを文末表現や順序を表す言葉に着目したり、絵と文をつなぐことで読み取ることができる。

(2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助
つかむ	今までの学習を振り返り、本時の課題をつかむことができる。	1. 前時までの学習を振り返り、「ちえ1」と「ちえ2」を確認し、じくがぐんぐんのびてくるころのたんぼぼのちえとそのわけを見つける本時の課題へつなげる。 2. 本時の課題を確認する。 「ぐんぐんたんぼぼ」のちえとそのわけを見つけよう。	・たんぼぼのちえやそのわけを見つけ出すときに使った「よみのかぎ」を確認する。 ②文の終わり ⑤順序を表す言葉 ⑧絵・写真と文をつなげる
さぐ	綿毛ができるころの、たんぼぼの知恵とその理由を読み取ることができる。	3. 教師の第⑥⑦段落の範読にあわせて、たんぼぼの様子を動作化する。 4. 6, 7段落に書かれたたんぼぼのちえとそのわけを読み取る。 ◇絵と文をつなげる。 「ぐんぐんのびていきます」や「せいを高くする」と絵をつなげる。 ◇「ちえ」と「わけ」を見つけてワークシートに線を引く。 ちえ・・・赤線 わけ・・・青線 根拠となる言葉・・・赤で丸をつける 【ちえ】・それまでたおれていた花のじくが、またおき上がります。 ・せのびをするように、ぐんぐんのびていきます。 【わけ】・たねをとおくまでとばすことができるからです。	・子どもたちが動作化できるよう、ゆっくり範読する。 ・一人読みの際に、わけが分かりにくい児童には、よみのかぎ「②文の終わり」に着目させる。 <着目させたい言葉> ②なぜ～でしょう それは～からです ⑤このころになると そうして
ふかめる	綿毛ができるころの、たんぼぼの知恵とその理由を書き抜くことができる。	5. 全体交流をする。 ◇線をひいたところを交流する。 ◇教師の第⑥⑦段落の範読にあわせて、たんぼぼのちえを動作化する。 6. 「ちえ」と「わけ」をワークシートに書き抜く。 【ちえ】・それまでたおれていた花のじくが、またおき上がります。 ・せのびをするように、ぐんぐんのびていきます。 【わけ】・たねをとおくまでとばすことができるからです。	・全体交流の際に、「～からです。」について、よみのかぎの文末にあたるということにふれる。 評価規準・評価方法 【読むこと】 ・綿毛ができる頃の、知恵とそのわけを読み取ることができる。(ワークシート・発言)
まとめる	本時の学習の内容をまとめて表すことができる。	7. 本時の学習で思ったことを書く。 花のじくがせのびをするようにぐんぐんのびていくわけがわかって、おもしろいと思いました。 8. 学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	・「はじめて知りました。」「ふしぎだと思いました。」「おもしろいと思いました。」「もっと知りたくなりました。」を使って書く。